

◆ 研究所概要



組織名	地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所
所在地	大阪府和泉市あゆみ野2丁目7番1号
職員数	172名 (非常勤・派遣を含み、皮革試験所は除く)

サイト(敷地), 建物	敷地面積	81,840㎡
	建築面積	15,836㎡
	延床面積	37,052㎡

◆ 事業活動の環境への影響 (平成 26 年度実績)

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所(産技研)は環境改善につながる活動を推進しています。産技研には特に大きな環境影響を及ぼす施設や活動はありませんが、公設試験研究機関という業務の特殊性から薬品、高圧ガスをはじめとする多種多様な化学物質を使用しており、それらの取扱いいかんによっては、環境に対して影響を及ぼしうるものと認識しています。

INPUT

電力使用量	:	6,333	千 kWh
都市ガス使用量	:	116	千 m ³
水道使用量	:	16	千 m ³
紙使用量	:	975	千枚

OUTPUT

廃棄物排出量

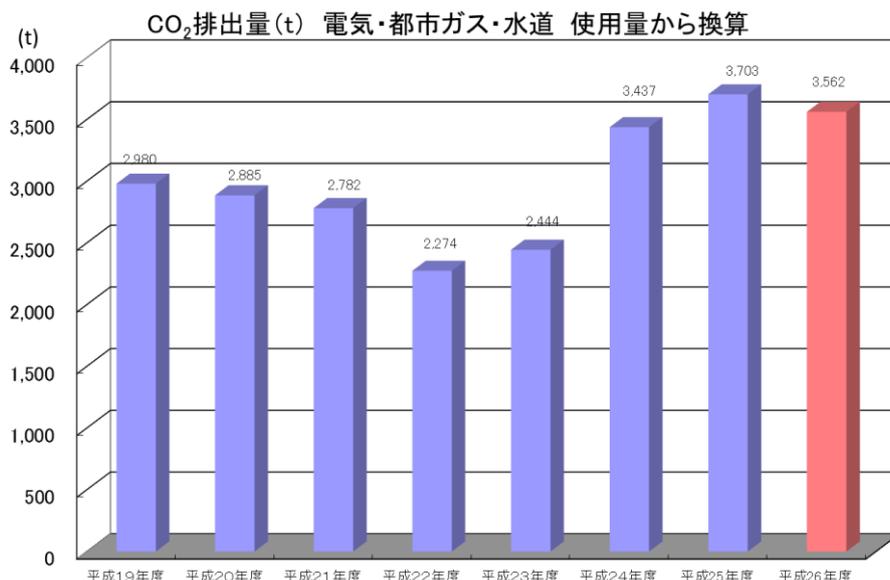
事業系一般廃棄物	:	8.8	トン
産業廃棄物合計	:	35.4	トン
(内、特別管理産業廃棄物)	:	(1.2)	トン

◆ 環境パフォーマンス

過去8年間の電気、都市ガス、水道の使用量を CO₂ 排出量に換算しました。

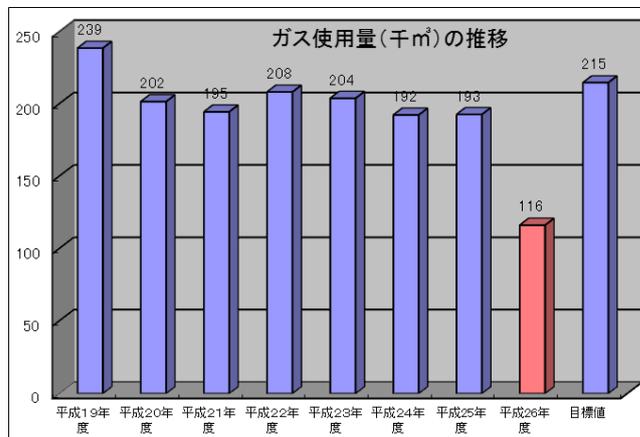
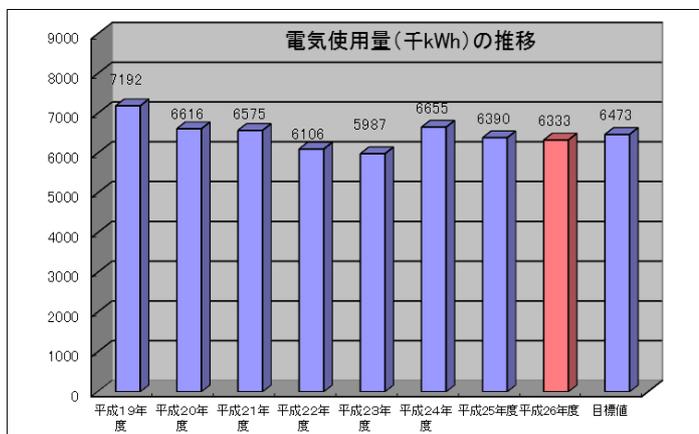
産技研では平成22年度までは、ほぼ順調に CO₂ 排出量を減少させてきましたが、平成23~25年度は排出係数の上昇等により、前年度に比べ、増加しました。

平成26年度は、空調熱源改修工事の結果、都市ガス使用量が約40%低減したことにより、CO₂ 排出量として前年に比べ、約140t削減できました。



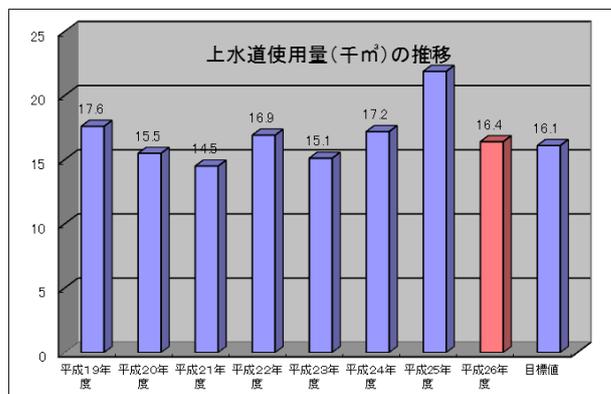
◆ 省エネルギーへの取組み

平成 26 年度は、電力の使用量は、前年度よりやや減少し、目標値（平成 19 年度比 10%削減、6473 千 kWh 以下）を達成しました。また、ガス使用量は、空調熱源工事の結果、前年度から約 40%の大幅な削減が達成できました。



◆ 水道使用量削減の取組み

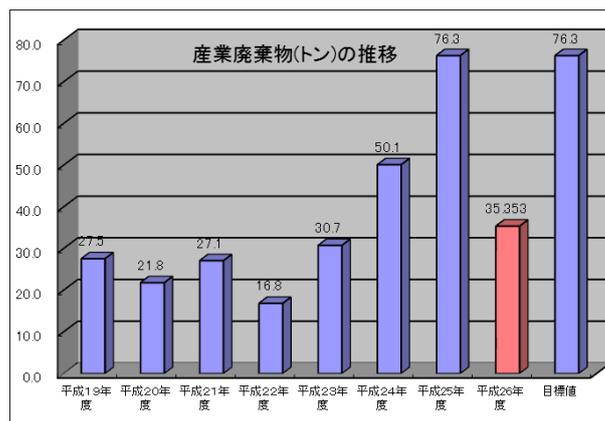
平成 26 年度の上水道の使用量は前年度に対し、約 25%削減し、16.4 千 m³でしたが、目標値（16.1 千 m³以下）は、わずかに達成できませんでした。



◆ 産業廃棄物削減の取組み

平成 23~25 年度にかけ、老朽化した多数の機器や設備の処分に取組んだため、排出量は、年々増加していましたが、平成 26 年度は、不要備品の処分が一段落したこともあり、目標値を達成できました。

コピー用紙使用枚数は平成 25 年度に比べ、約 8%増加し、975 千枚と目標値（925 千枚）を達成できませんでした。



◆ 安全管理システムの運用による取組み

「安全管理システム」の運用が軌道に乗り、産技研で使用している薬品、ガス等について保管、使用、廃棄状況が迅速、正確に把握できるようになっています。引き続き職員の安全と地域環境保全を確保するための努力を継続していきます。